

長崎がんばらば国体結団式開催



9月18日、県営武道館において、第69回国民体育大会（長崎がんばらば国体）岩手県選手団結団式がおこなわれました。結団式では、達増拓也知事（県体協会長）から選手を代表して中花愛莉選手（ホッケー少年女子）に対して国体選手証が授与されました。達増知事からの激励の言葉の後、県旗が達増会長から長澤茂副団長へ、長澤副団長から旗手の芦渡翔選手（ウエイトリフティング成年男子）に渡されました。

最後に、主将の近村健太選手（カヌー成年男子）が選手を代表して「最高のパフォーマンスをすることが選手の使命。元気な姿と笑顔を全国に発信し、復興支援への感謝の気持ちを伝えたい」と決意表明しました。

結団式後には、本田昭二ドーピングコントロールオフィサーによるドーピング防止講習会がおこなわれ、アスリートとしてのアンチドーピングに対する理解を深めました。

いわて純情米需要拡大推進協議会より「いわて純情米ひとめぼれ」が贈呈されました。



9月18日、長崎がんばらば国体結団式終了後、いわて純情米需要拡大推進協議会 事務局長 中村善光様から、国体岩手県選手団に対して、「いわて純情米ひとめぼれ」が贈呈されました。

いわて純情米需要拡大推進協議会は、各競技の競技力向上を支援するため、強化合宿等に対し、お米の提供も行っています。ご支援ありがとうございます。

第17回 仁川アジア大会出場！

カヌー（スプリント）近村 健太（盛岡市役所）
陸上（20km競歩）高橋 英輝（岩手大4年）



9月18日、アジア大会に出場する、近村健太選手が来会しました。

アジア大会での活躍を祈念し、賛助会選手強化支援事業スポーツマン顕彰 激励金を川口県体協副会長 兼理事長より贈呈し激励しました。